はり人夫を雇入れて警戒を嚴重にして持久戰の態様を整ふるに至つた。

爭議團側は十八日に「三名の首に際して不法監禁を爲した」となし工場人事係清水清馬外七名を告訴するに至り翌十九日には次の如き聲明書を發表した。

◎別紙參照

續いて附近各紡績會社、日清紡系統會社にビラを撒布し爭議の擴大を期して進み二十二日「全國評議會日清紡績爭議全國應援同盟」を結成し夏川清治（關東）神原英一（關西）吉田時男、安井正逸鈴木辰男（中部）が中心となつて應援を爲すことになり二十四日に至つて次の如き要求書を內容證明郵便にて工場に送つた。

一、三名の復職を卽時承認せよ！

一、爭議中の日給を全額支給しろ！

一、爭議費用を全額會社で負擔しろ！

二十五日に至つて縣調停官補大鋼三太郎が出張、兩者を會見せむべく斡旋したるも工場側は依然組合代表者と會見する必要

財團法人 勞務協調會 名古屋出張所